

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回嵐山町総合教育会議			
開 催 日 時	令和5年5月30日(火)	開 会	午後 2時00分	
		閉 会	午後 2時30分	
開 催 場 所	204・205会議室			
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 嵐山町立小学校・中学校の学校再編後の学校位置について 4 閉会			
公開・非公開の別	公 開	傍聴者数	0人	
非公開の理由 (非公開の場合)	/			
委員出欠状況	佐久間町長	出	船戸教育委員	出
	下村教育長	出	中澤教育委員	欠
	嶋本教育委員	出	村田教育委員	出
事 務 局	萩原総務課長			
	石橋総務課副課長			
関 係 職 員	高橋教育総務課長			
	尾針教育総務課副課長			

次 第	顛 末
1 開 会	事務局
2 あいさつ	佐久間町長
<p data-bbox="236 544 419 622">3 議 題 教育総務課</p> <p data-bbox="276 969 371 1003">教育長</p> <p data-bbox="292 1541 355 1574">町長</p> <p data-bbox="276 1641 371 1675">教育長</p> <p data-bbox="292 1742 355 1776">町長</p> <p data-bbox="276 1877 371 1910">教育長</p>	<p data-bbox="483 544 1402 577">(1) 嵐山町立小学校・中学校の学校再編後の学校位置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="483 589 1402 667">・「嵐山町立小中学校再編基本計画資料作成業務委託（耐力度調査）」について <li data-bbox="483 678 1402 857">・文部科学省の交付金を申請する際は、耐力度調査を実施することが必須となっており、耐力度点数が4, 500点を超えた場合は改修の交付金対象となり、4, 500点を下回った場合は、改築工事の交付金対象となる。 <li data-bbox="483 869 1402 947">・菅谷小学校は、3棟の内2棟が4, 500点以下であり、菅谷中学校は、3棟すべてが4, 500点を超えていた。 <li data-bbox="483 958 1402 1149">・嵐山町立小中学校再編等審議会からの答申は、小学校を1校、中学校を1校とされており、提言にある小中一貫教育制度を導入するためには、同一敷地内に小中学校が、設置されている方が、円滑な教育活動が実施しやすい。 <li data-bbox="483 1160 1402 1238">・現菅谷小学校の体育館及びプールを統合後も活用する計画であるため、小学生の移動の安全性を確保する必要がある。 <li data-bbox="483 1249 1402 1328">・現菅谷小学校には統合後の小学校、中学校を建設するための十分な敷地面積がある。 <li data-bbox="483 1339 1402 1417">・統合後の学校の位置を現菅谷小学校の位置とすることを教育委員会で承認されている。 <li data-bbox="483 1429 1402 1507">・以上により、現菅谷小学校の位置を学校再編後の学校位置としたい。 <li data-bbox="483 1518 1402 1597">・菅谷小学校の耐力度点数が低いが直ちに倒壊の恐れはないなど緊急性は低いとみてよいか。 <li data-bbox="483 1608 1402 1686">・すでに耐震工事は済んでいるので、直ちに子どもたちを避難させなくてはならないほど緊急性は高くない。 <li data-bbox="483 1697 1402 1843">・他の市町村の校舎で、耐力度点数が菅谷小学校より下回る3, 000点台の学校もあるようだが、改築はしていないという認識でよろしいのか。 <li data-bbox="483 1854 1402 1995">・改築をやっていないところもあるようだ。菅谷小学校は、天井に不具合があるため、雨漏り、漏水等は点検を十分にし、その都度対応をしていきたい。

町長	・菅谷中学校の耐力度点数がよいが、長寿命化改修を考えると いうことはなかったのか。
教育長	・菅谷中学校の耐力度点数はよいが、築年数は3年違うだけであり、48年経過している。一般的に80年が鉄筋コンクリート造の限度と言われている。長寿命化改修の経費を考えると、長寿命化改修をしたうえで最長30年使用するより、小中学校を一緒に新築した方が、長期的にみれば経費が節減できる。
町長	・再編統合後の中学校は、現菅谷中学校の建物面積で十分な教育活動が可能なのか。
教育長	・仮に現段階で再編統合するのであれば、増築工事をして、建物面積を増加させることも視野に入れなければならない。
町長	・学校再編プロジェクトチームには工事の必要性は説明したのか。
教育総務課	・5月23日に開催された学校再編プロジェクト会議にて説明してある。
町長	・学校再編プロジェクトチームの中でこういった方向付けがなされたのか。
教育総務課	・5月23日に開催された学校再編プロジェクト会議において、現菅谷小学校の敷地に統合後の小中学校を設置する方向が望ましいとされた。
町長	・教育委員会はどのような意向なのか。
教育長	・5月24日に開催された教育委員会で耐力度調査の結果と学校再編プロジェクトの方向付けについて説明がされ、5月30日に開催された教育委員会で現菅谷小学校の敷地に統合後の小中学校を設置する方向が望ましいと出席者全員の承認をいただいた。
町長	・非常に大事な議事であるため5月30日に開催された教育委員会で欠席された教育委員の承認を確認して欲しい。
教育長	・確認する。(会議終了後に欠席者より了承を得た。)
町長	・嵐山町立小中学校再編等審議会からの答申と整合性は図られているのか。
教育長	・小学校を1校、中学校を1校にし、統合後の小中学校を現菅谷小学校の場所とし、小中一貫教育制度の導入に向けては、同一敷地である方がより適しているため、答申と合致している。
町長	・様々な角度からしっかり検討されている。安全性についても十分に配慮されている。今回の議題をしっかりと検討させていただく。
5 閉 会	事務局